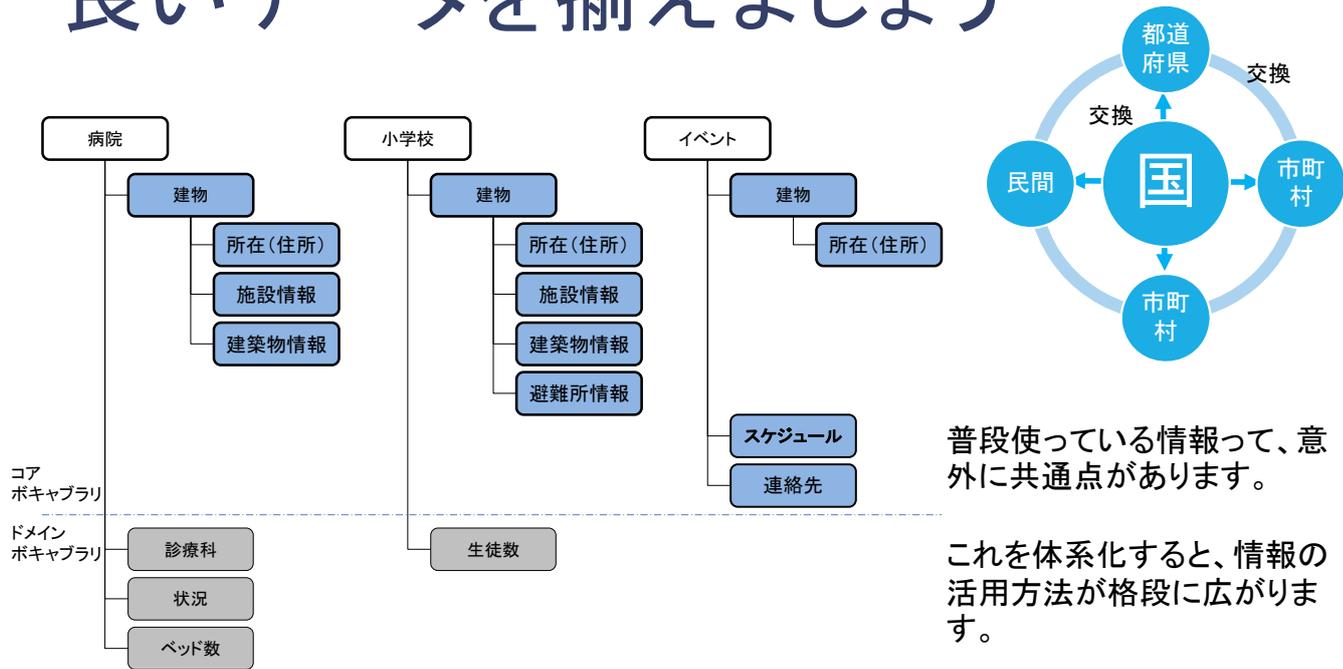


共通語彙基盤

IMI Infrastructure for Multi-layer Interoperability

良いサービスを作るために、 良いデータを揃えましょう



普段使っている情報って、意外に共通点があります。

これを体系化すると、情報の活用方法が格段に広がります。

この基盤を使うことで、サービスの検討や広範囲に使えるサービス構築が容易になります。

IT戦略「世界最先端IT国家創造宣言」(平成25年6月閣議決定)で、「データの組み合わせや横断的利用を容易とする共通の語彙の基盤構築にも取り組む。」「国民がステークホルダーとして積極的に参加できるよう、(中略)、データ・フォーマット、用語、コード、文字等の標準化・共通化、APIの公開等を行いつつ整備する。」と今後の活用が国の方針として決定されています。

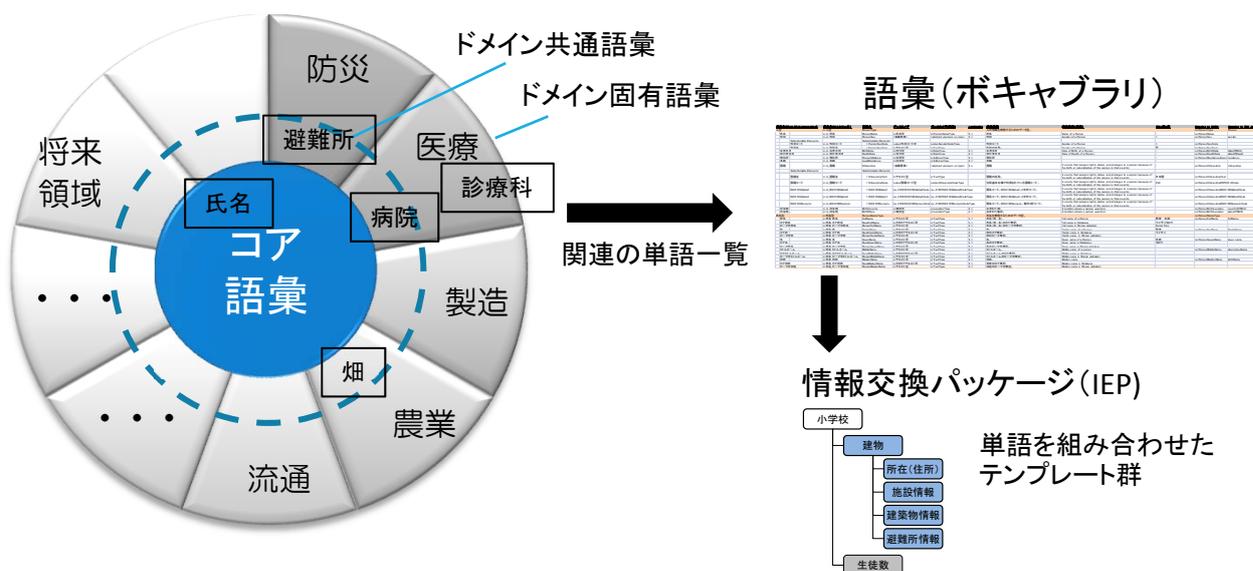
共通語彙基盤の内容

共通語彙基盤では、3つの語彙の階層を定義しています。

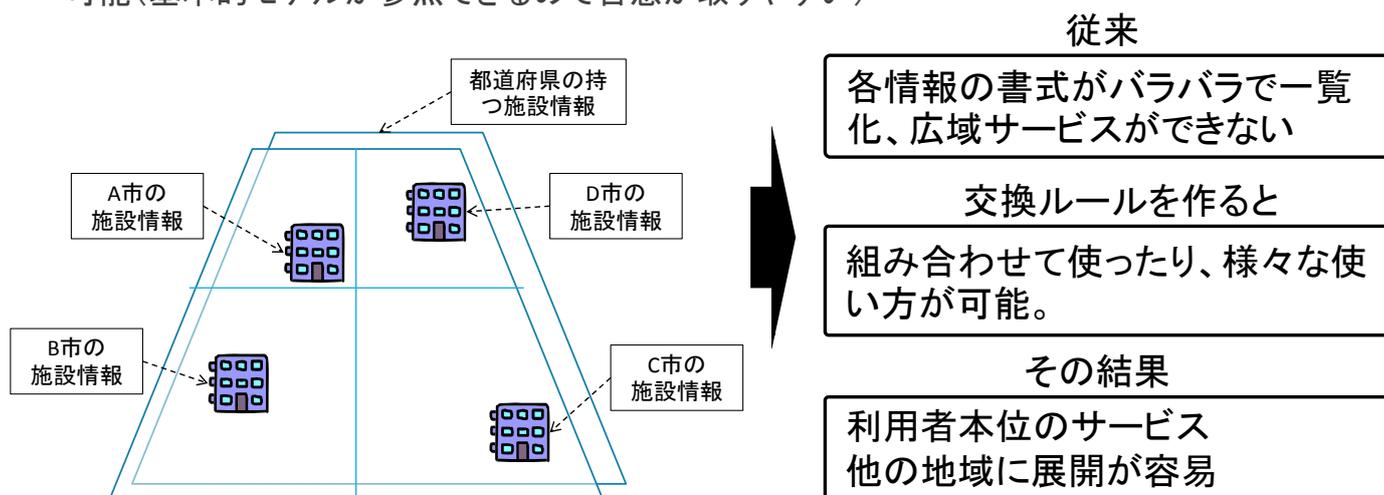
コア語彙 : 「氏名」「住所」等、どのようなサービスでも使う用語

ドメイン共通語彙 : 「病院」「避難所」など、複数の分野で使われる用語

ドメイン固有語彙 : 「診療科」「病床数」等、特定分野での専門用語



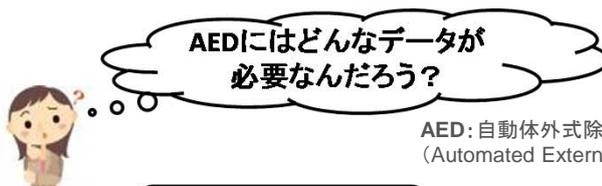
このように、情報交換するデータを定義、構造化することで、広域のサービスを迅速に連携可能(基本的モデルが参照できるので合意が取りやすい)



導入方法

アプリ開発や情報連携で活用すると、短い検討時間で、高品質なデータ設計をすることができます。

1. やりたいことを決定
2. 情報交換パッケージ(IEP)やコア語彙等の資料から見えそうな資料を選択



AED: 自動体外式除細動器
(Automated External Defibrillator)

3. 利用するデータ項目を抜粋



IEPを活用

企画や設計のデータ検討時間を短縮

4. 不足するデータを追加



コア語彙も活用



企画の高度化に注力

5. 実装



6. (IEPを登録)

現在提供中の語彙・情報交換パッケージ(IEP)

氏名IEP	地物IEP	コア語彙
組織IEP	施設IEP	
住所IEP	避難施設IEP	
イベントIEP	医療機関IEP	
	設備IEP	

他に不足する語彙がある場合には、米国政府が整備するNIEMや検索業界が定義するSchema.orgも参照すると参考になる資料が手に入ることがあります。

<https://www.niem.gov/>

<http://www.schema.org/>

FAQ

Q:語彙って何ですか？

A:語彙は、特定範囲において使われる単語のグループの総体を言っており、システム間の情報連携をするための単語の総体として使っています。

Q:既存の用語集との関係はどうなっていますか？

A:専門分野や企業毎に用語集が整備されていることが多いです。それを変える必要はありません。外部と情報交換するときに、共通語彙基盤を活用してください。一度対応関係を整理すれば、その後は容易に変換できるようになります。

Q:業界内で用語を整備しているので必要性を感じないのだけれど？

A:最近のサービスでは業界横断や地域横断のサービスが増えてきています。そのような広範囲での情報連携の時に効果が生じます。

Q何を根拠に語彙を選び、情報交換パッケージを整理しているのですか？

A:行政や語彙の専門家が委員会で、既存の関連データ構造や実例を収集しデータの設計をしています。また、実データをサンプルとして入れて検証しています。

Q:コードの一覧は提供されないのですか？

A:主要なコードは情報交換パッケージに記述していますが、今後拡充していきます。

Q:国際的な情報交換はできるのですか？

A:諸外国の類似プロジェクトと協力しながらプロジェクトの推進をしています。対応表も整備していく予定です。翻訳も効率的にできるようにするひな形を整備する予定です。

Q:各種資料の更新頻度を教えてほしい？

A:現在のコア語彙はv2.2です。しばらく大規模なメジャーバージョンアップは予定していません。ドメインの追加等のマイナーバージョンアップは、適宜行う予定です。

Q:既存の語彙を当てはめようとすると、共通語彙基盤の語彙が細かすぎて、そこまで入力できません。どうしたらよいのでしょうか？

A:共通語彙基盤の用語は、用途に応じて取捨選択して活用するようになっていますので、すべてを正確に合わせる必要はありません。従来データを活かして、大括りで情報を扱うことも可能です。現場に負担をかけず、徐々に移行していくことをお勧めします。

Q:データの入力や変換が大変なのですが、何か工夫はありますか？

A:データの入出力を支援するツールを整備中です。もうしばらくお待ちください。